

会員各位

## 2021年度 第1回(通算114回) 造粒分科会 技術討論会 開催のご案内

一般社団法人	日本粉体工業技術協会	造粒分科会	
コーディネーター	中央大学教授		村瀬 和典
副コーディネーター	東京都立大学大学院准教授		武井 孝
代表幹事	(株)ダルトン		小泉 一郎
担当幹事	(株)パウレック		内田 和宏
	(株)アーステクニカ		太田 幹子
	(株)ライオン		大久保 貴弘
	(株)栗本鐵工所		藤井 淳

### テーマ：「新しい機能を有する造粒プロセス」

造粒技術は数多くの分野において、その技術を支えています。当分科会では「粒を造り、粒を制御する」という観点から、粒や粒子の制御に関わる業界先端技術を討論の場に挙げることによって、参加された皆様が普段抱えている問題をブレークスルーするヒントとして頂きたいと活動しております。

今回は「新しい機能を有する造粒プロセス」というテーマで、造粒を行うことで粉に新たな機能を付加する技術、ノウハウ、実例等について、技術討論会を行います。是非、ご参加ください。

### オンライン開催へ変更のご案内

当初、中央大学講義室をお借りして開催を計画していましたが、新型コロナウイルス オミクロン株の急激な感染拡大により、セミナーを対面で開催することが難しい状況となってしまいました。

つきましては、誠に残念ですが全面オンラインでの開催へ変更いたしましたのでご連絡申し上げます。

セミナー開催目的として講師と参加者が自由に対話できる場を提供することもありますので、皆様と直接お会いすることができないのは誠に残念ですが、どうかご理解いただけますようお願い申し上げます。

すでに参加申し込みをいただいた方に関しましては、オンライン参加に切り替えさせていただきますので追加の登録等は不要です。

1. 日 時：2022年3月4日(金) 13:00～17:00 (接続開始 12:45～)

2. 会 場：オンライン Zoom

3. プログラム (予定)

(1) 開会挨拶・連絡事項 (13:00～13:05)

(2) 造粒技術 (13:05～13:15)

「新しい機能を有する造粒」技術に注目するために

造粒分科会アドバイザー 吉原伊知郎 氏

造粒技術は「機能を持つ粒子を造る、あるいは粒子に機能を与える」技術である。

今までなかった機能を粒子に与えるため、粒の形態：「形状・内部構造」に関与している造粒技術を紹介し、各分野の課題をブレークスルーするヒントとしたい。

(3) 講演1 (13:15～14:05)

「森下仁丹における産業用途カプセル技術」

森下仁丹株式会社 カプセル事業本部カプセル開発部 西川 雄大 氏

森下仁丹のシームレスカプセル技術は食品、化粧品、医薬品への応用のみならず、幅広い産業分野に展開する可能性を秘めている。

本講演では、森下仁丹における産業用途のミ리카プセルおよびマイクロカプセルを紹介する。

(4) 講演 2 (14:05~14:55)

「機能性素材「コナファット」の新たな可能性について」

日清オイリオグループ株式会社 加工用事業部 加工用事業企画部 コナファット課 有本 真 氏  
コナファットは食用油脂のみで製造した安心、安全の新素材である。水分移行抑制、液体の粉末化、液体の増粘、粉体・顆粒の流動性改善等の様々な機能を持ち、食品領域に止まらず環境対応した非食品用途での課題解決の可能性がある。  
この度は、幾つかの機能の事例について紹介させて頂く。

休憩 (15分)

(5) 講演 3 (15:10~16:00)

「高機能金属粉末と金属 3D 積層造形」

兵庫県立大学 特任教授 金属新素材研究センター 副センター長 柳谷 彰彦 氏  
高機能金属粉末の製造方法であるガスアトマイズ法の概略とガスアトマイズ金属粉末の実用化の例を紹介するとともに、金属 3D 積層造形へのガスアトマイズ金属粉末の最近の適用例についても紹介する。

(6) 講演 4 (16:00~16:50)

「球状活性炭「BAC (バック)」の特徴と用途について」

株式会社クレハ 炭素製品製造部 技術課 清水 和彦 氏  
当社は球状活性炭「BAC」を石油ピッチから製造している。流動性が高くダスト発生が少ない特長を活かし、排ガス・水質浄化用途に幅広く使用されている。本講演では、製造工程の概要、材料物性、用途について紹介したい。

(7) 閉会の挨拶・連絡事項 (16:50~17:00)

4. 定 員 : 50 名

5. 参 加 費 : 日本粉体工業技術協会会員 3,000 円、 非会員 4,000 円

6. 申込締切 : **2022 年 2 月 22 日(火)** (定員になり次第締切りますので、お早目にお申込み下さい。)

7. 申込方法 : 参加申込書に記入いただき、事務局あてに FAX または E-Mail にてお申込み下さい。

【申し込み先 : 造粒分科会事務局】 (株)ダルトン 粉体機器事業部 鈴木 有理沙

E-Mail : a-orihara-dykr@dalton.co.jp FAX: 072-947-5221

9. 参加費支払 : お申込受付後、受領書と一緒に請求書を E-Mail にてお送り致します。

下記銀行口座へ 2022 年 2 月 22 日 (火曜日) までにお振込み下さい。

三井住友銀行 飯田橋支店 普通口座 No. 7140974

口座名 : 造粒分科会 (ゾウリュウブンカカイ)

※振込時の振込名に、「**会社名+姓**」の記載をお願いします。

(複数名分を一度に振込む場合は、代表者名の記載をお願いします。)

※振込手数料は、貴社にてご負担願います。

※お振込み頂いた参加費は返金できません。欠席の場合は代理の方のご参加をお願い致します。

次頁の参加申込書に記入いただき、下記事務局宛に FAX または E-Mail にてお申込み下さい。

以上

FAX : 072-947-5221 / E-Mail : a-orihara-dykr@dalton.co.jp

(株)ダルトン 粉体機器事業部 鈴木 有理沙 宛

## 2021 年度 第 1 回 (通算 114 回) 造粒分科会 オンライン 技術討論会参加申込書

会 社 名			
(フリガナ) 氏 名			
部署・役職			
住 所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail		会員種別	1.協会会員 2.非会員
入金予定日		領収書	1. 要 2. 不要
連 絡 欄*			

- \* 事務処理上領収書の発行が必要な方は、領収書欄の「要」に印をつけて下さい。当日会場受付もしくは郵送にてお渡しします。
- ※ E-mail アドレスをお持ちの方は必ずご記入下さい。分科会開催のご案内のため、是非ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。
- ※ 個人情報の取扱につきましては、当協会規定にもとづき分科会の運営及び管理にのみ使用致します。詳細につきましては、下記アドレスをご参照お願い致します。  
個人情報のページ <http://www.appie.or.jp/privacy>